

令和8年度 第3回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和8年6月16日（火） 午後7時から8時50分
■場 所 末野原交流館 2階 多目的ホール
■出席者 委員 : 13名（欠席1名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、伊藤担当長、永田主査

■次 第

- 「豊田市民の誓い」 唱和
- 1 会長あいさつ
 - 2 令和8年度第2回地域会議の会議録について
 - 3 協議事項
(1) 地域会議で協議する分野のネタ出しをしてみましょう
(2) 分野の絞り込み
 - 4 その他
(1) 上郷地域バスについて
(2) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略
- 2 令和8年度第2回地域会議の会議録について

・第2回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た。

3 協議事項

- (1) 地域会議で協議する分野のネタ出しをしてみましょう

・第2回で発言できなかった委員から、身近な困りごと、心配ごと、取り上げてみたい・興味のある分野について順に意見を出し合った。
・大きくは、「高齢者の居場所づくり」「地域活動の参加促進（交通安全立哨）」「矢作川河川敷の利用」「交通安全・自転車」「人を呼び込む・高速道路の活用」「外国人との共生」に対する意見が上がった。

- (2) 分野の絞り込み

（市へ提言をする場合に、必ず踏まえてなければならない「条件」について）

・市への提言を念頭に、各委員から出た分野ごとに「末野原ならではの視点があるか」「地域で取り組めること」「市へ期待すること」の3つの条件について整理することとした。
・まずは、第2回で出た分野である「交通安全①・自動車」を取り上げ、全員で意見を出し合った。
・「交通安全①・自動車」を整理し終えたところで終了し、残りの分野の条件整理は、各自の宿題とした。今回「(1) ネタ出しをしてみましょう」で出た新しい意見を踏まえて、事務局が「分野の絞り込みシート」を更新し、6月19日

（金）までに各自へ配布することにしたため、各自が整理した「分野の絞り込みシート」を7月2日（木）までに事務局まで提出することで合意した。

【（１）地域会議で協議する分野のネタ出しをしてみましょう、で出た意見】

<高齢者の居場所づくり>

- ・柳川瀬公園にはマレットゴルフ場や運動場があり、高齢者が活動していた。パロマ瑞穂スタジアムに行ったときも、高齢者が集まって講座をやっていた。末野原地区には、「集まれる場所（公園）」があると良いのではないかな。
- ・大林公園という広い公園があるが、あくまで広場である。豊栄二区の児童公園、ふれあい広場も同様。
- ・高齢者に限らず、多世代が利用できるような形が良いのでは。飲食も含めた複合施設があると良い。
- ・河合池マレットゴルフ場があるが、利用者に偏りがでて利用しにくい状態。スケートボード場はどうか。
- ・近くのふれあい広場でも、子どもをほとんど見ない。公園は子どものためのものだと思っていたが、今は高齢者のためのものになりつつあると時代の流れを実感している。
- ・子ども食堂のような高齢者向けの憩いの場があると良いのではないかな。また、シャトルバスのような開催場所までの足も確保してもらえると良い。
- ・活動を始めるには、核になる人が必要になる。

<高齢者を助ける体制づくり>

- ・自治区ごとに「お助け隊」があるところ、ないところがあり、担い手不足もあるため、末野原地域で活動していただける体制にしたらどうか。

<子どもの居場所づくり>

- ・子ども会に参加する子が少なくなっている。こどもの居場所づくりが必要だと感じる。

<矢作川河川敷の利用>

- ・４輪駆動車、オフロードバイクで河川敷が崩れている部分もある。注意看板があるものの、壊されている状態。
- ・BBQ の残骸放置、家具家電の不法投棄、騒音などの問題が発生しており、一般車両を乗入禁止にできないかと考えている。
- ・若い人の間では有名な場所になっていると聞く。救急車両が来たこともあり、見ていて危ない。

<地域活動への参加促進>

- ・平日の通勤通学時間帯での交通安全立哨は、働く世代には参加が難しい時間であり、いつも同じ顔触れとなっている。
- ・70 歳まで働く時代で、退職後に地域活動に理解していただけるか心配している。中高年世代が地域活動に参加しやすい方策を考える必要があるのではないかな。

- ・立哨活動日は市からの依頼だと認識しているが、具体的に交通安全立哨日の設定を考える必要があると思っている。
- ・見方によっては、そこで高齢者同士が顔を合わせる機会にもなっている。人によって生きがいとすることは違うが、その観点で考えると立哨活動や地域活動もその生きがい、自立に向けたひとつになりうる。
- ・一昔前は、近所同士で声を掛け合って交通安全立哨活動に参加することもあった。近所や人の輪の繋がりが薄れてきたことも地域活動への参加が少なくなってきた原因だろうと思う。それが地域の担い手不足にも関係している。

<交通安全 自転車>

- ・ルールだけが先行し、周知が遅れている気がする。細い道で自転車の走行帯が引かれていると車両との接触の危険性もある。

<移動手段・交通>

- ・利便性の高い地域だと思うが、高齢者にとっては孤独を感じやすい地域でもある気がする。だからこそ、移動手段にもっと手を加えたらよいのではないかな。

<人を呼び込む 高速道路の活用>

- ・豊田東インターが活用できておらず、もったいない。人口減少の中で、他市から人を呼び込む策として活用したらよいのではないかな。
- ・高速を降りなくても入れる道の駅、ラリー練習場、スケートボード場、など人を呼び込む策を考えたい。
- ・大学の創設もよいかもしれない。大学ができれば、豊田市に残って就職も可能性がある。
- ・国道 248 線などの幹線道路に自動運転バス優先道路を作り走らせる。インターやサービスエリアにつなげることができれば、渋滞の心配もなく、交通アクセスがよくなる。
- ・高速道路周辺の土地を活かす。周辺の町の活性化にもつながる。
- ・豊田東インター周辺で土地利用計画を立てれば、ある程度これまで出てきた意見は、叶えられるのではないかと感じた。地域会議で土地利用計画を作るのは困難だが、地域会議委員や地域住民の声を反映させた土地利用計画策定が必要だ、という提言ができるのではないかな。
- ・名古屋市中川区のナカガワ キャナル ドアーズ^{※1} のテレビ報道を見てきた。富山の富岩運河^{※2} も素晴らしい。矢作川や豊田東インターを利用して、いつ行っても散歩ができる豊かな時間が過ごせる施設ができるといいな、と感じた。

※1 ナカガワキャナルドアーズとは、名古屋市が魅力ある水辺空間の形成に向けて、中川運河の沿岸用地への憩い・にぎわい施設の誘導を進め、令和 8 年 6 月 18 日に開業。堀止エリアにおいて市有地等を活用した事業提案募集を行い、選定された事業者が整備を進めてきた。名古屋の都心の貴重な水辺空間として新たな魅力を発信、多くの人が日常的に訪れたい空間の創出を目指す。
(名古屋市 HP 参考)

※2 富山県富岩運河環水公園は、昭和 10 年に建設された富岩運河を活用し、「とやま都市 MIRAI 計画」のシンボルゾーンとして整備された（平成 9 年から一部供用開始）。水に親しむ場として旧

舟だまりを利用した水辺空間を中心に、両岸には遊歩道や芝生のスロープを配置。カフェやレストラン、富山県美術館などもある。（富山県 HP、富山県富岩運河環水公園 HP 参考）

<外国人との共生>

- ・ 東南アジア、中国からの外国人が増えてきている。どう共生していくか。
- ・ 今は豊田市中に外国籍の児童生徒が増えている。ことばの教室は、西保見小学校、大林小学校、野見小学校にある。保見中学校にもできて、過去他にも作れないかという話があった。

<地場産業>

- ・ 豊栄二区では製茶業が盛ん。それを活かして、子供たちの体験学習につなげたり、お茶を道の駅で売るのもいいかもしれない。
- ・ 子どもが地場産業の魅力に気づいてもらえるとよい。

<その他>

- ・ 中学校への進学問題については、豊栄町一区区民の雑談会を計画しており、その中で、話は出るかもしれない。基本的には豊栄町一区の問題なので、一旦地域会議の議題からは外してもらって構わない。
- ・ 末野原地域は、道路と鉄道に分断されているエリアであり、ひとつに集まって何かやるのが難しい地域性だと感じる。
- ・ 子どもがイキイキするには、高齢者がイキイキするには、を考えたいが、もっと根本的に変えないとこの先行き詰まるのではないか。

【（２）分野の絞り込み 市へ提言をする場合に、必ず踏まえなければならない「条件」で出た意見】

分野	交通安全①・自動車
末野原ならではの視点	・ 令和５年度地域会議アンケート 防犯・交通安全２位とこの地域で感心が高い ・ 末野原地域は通勤の通過点として、生活道路での危険運転が多い（豊栄二区、豊栄町一区、永覚など）
地域での取組	・ 企業への地域から生活道路の走行マナーに関する申し入れ ・ 看板設置 ・ 交通安全立哨活動 →これまでやってきたが、どれもはっきりとした効果がない。
市へ期待すること	・ 時間帯交通規制 → 豊栄一区でやってしまうと、通勤できない事態にならないか
その他	・ 生活道路の入口と出口をでこぼこにして、進入する車両のスピードを抑制する（スピードハンプなどの設置） 企業に申し入れを行う。例えば、離れたところに駐車場を作り、ピストン輸送するなどの対策を要望する。

4 その他

事務局から、次の事項について報告・連絡した。

(1) 上郷地域バスについて

(2) 次回の地域会議について

・次回の地域会議について

とき 7月21日(火) 午後7時～9時

ところ 末野原交流館 多目的ホール